

細胞から膜電位へ

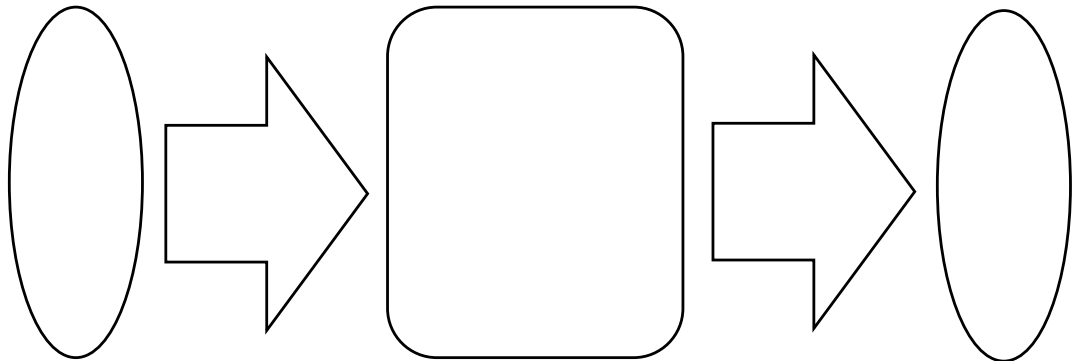
私たちの身体は“細胞”によって作られている。細胞が集合して組織が作られ、その組織が集合する形となって器官を構成する。器官が集合すると個体を構成する。

器官が集合すると個体を構成する。個体の下層にある器官は、似たような機能を有するグループ＝**器官系**を作る。器官系には骨格系・筋肉系・感覚器系・神経系・呼吸器系・循環器系・消化器系・泌尿器系・生殖器系・血管リンパ系そして内分泌系がある。たくさんあるこれら器官系は、バラバラに動いているのではなく、“連携”しながら動く。この連携を実現させているのが、**神経系**と**内分泌系**の存在である。



情報処理機構：神経系

ヒトの神経系というのは、非常に優秀な“情報処理機構”である。



機能的には情報統合＝中枢神経系、情報伝達＝末梢神経系でいいんだけど、解剖学的には中枢神経系は“骨”に覆われていると理解しておくとか分類分けが簡単になる。脳：頭蓋骨、脊髄：椎骨

情報処理機構である神経系は、末梢神経系と中枢神経系によって構成されている。末梢神経系には、（ ）神経系・（ ）神経系・腸管神経系がある。

体性神経系

入力	出力

自律神経系

入力	出力